

《10/10(土) 16:00~17:00 放送》

RCCラジオ特別番組

ラジオドラマ ひろしまお好み焼のある風景

RCCラジオで月曜・火曜11:55から放送中の「お好み焼きのある風景」では、これまでに1,100を超えるお好み焼にまつわるエッセイを柏村武昭さんの朗読で紹介してきました。今年には戦後75年の節目の年。広島が復興していった当時の記憶を持つ人も少なくなっていることから、その時の風景を後世に伝えるためラジオドラマを制作しました。オタフクソースとの共同企画で、リスナーから「昭和30年代のお好み焼の思い出」を募集。寄せられたエッセイから2作品を選んでドラマ化しました。

一つは「白い雲、みつつ」。3人の男子中学生の友情を描きました。

もう一つは「おばあちゃんの後悔」。小学6年生の孫・ハル子と、こどもを亡くし戦争を生き抜いた大人たちの物語です。

どちらも昭和30年代の広島が舞台。そこには人々に寄り添うようにお好み焼がありました。ラジオドラマで当時の風景がよみがえります。



「白い雲、みつつ」

沼田高校演劇部の男子が3人の仲間を熱演。お母さん役は伊藤文アナウンサー、お好み焼き店主は岡佳奈さんが演じました。

「おばあちゃんの後悔」

孫のハル子はタレントの永田恋香楼さん。おばあちゃんをはじめ劇団テアトル広島の皆さんによる迫真の演技。

